

ふれあい 稲荷一

第45号

発行 稲荷第一地区まちづくり会
社会福祉協議会稲荷第一支部
編集 広報部
稲荷第一市民センター内
〒311-1115
水戸市大串町2134
TEL: 029-269-2213
印刷 (有) 泰平印刷
水戸市栗崎町1608-3
TEL: 029-269-2270

令和七年度定期総会開催

○令和七年度定期総会開催

五月十八日(日)・ご挨拶

稲荷第一地区まちづくり会

会長 宮部 永一

稲荷第一地区の皆様には、日頃より、稲荷第一地区まちづくり会にご理解を賜り、ご支援・ご協力を頂き心より感謝申し上げます。

令和七年度の定期総会は、水戸市民憲章唱和・水戸市歌斉唱で始まり、公務ご多忙の中、水戸市長高橋靖様はじめ、多くの来賓各位のご臨席を賜りました。

続いて、令和六年度事業・決算報告に続き、令和七年度事業計画・予算等の議事が、それぞれ原案通りご承認されました。

少子高齢化社会と言われ、価値観等も多様化している昨今ですが、今後の対応としては、稲荷第一市民センターを基軸に各種事業が更なる発展・イメージアップに貢献できるものと期待しています。

結びに、「共に創ろう住みよい地域づくり」をスローガンに稲荷第一地区が活気に溢れ、益々明るく住みよい地域となるよう役員一同努力する所存でございますので宜しくお願い申し上げます。



○社会福祉事業の状況・ご挨拶
社会福祉協議会稲荷第一支部

副支部長 出澤 孝夫

日頃から、稲荷第一地区の地域福祉事業については、ご支援ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

少子高齢化や急速な人口減少、多発する災害への対応、独居老人の増加、経済不況による社会不安など、地域社会を取り巻く生活環境は著しく変容しております。

これらの事を踏まえ、今年度は、福寿のつどい・歳末たすけあい事業・共同募金活動・米寿の祝いなど、社会福祉事業の目的に即応した色々な取組みを考慮し、活動を実施して参りたいと思います。

今後共、社協へのご支援・ご協力を宜しくお願い致します。





「洪水ハザード避難訓練受付」の様子

水戸市洪水ハザード避難訓練

と き 令和 7 年 6 月 29 日（日）
（午前 9 時 5 分サイレン吹鳴）

ところ 稲荷第一小学校体育館



「防災ダンボールベット設営」の様子



「防災仮設ルーム設営」の様子

主な年間行事予定

四月	五月	六月	七月	八月
会計監査 役員会（総会について） スポーツ健康部打合せ 子育て広場 環境美化（各町内会）	役員会（総会について） 定期総会開催 広報紙情報収集 子育て広場 花苗の区割り・配布	総務・防災部打合せ 広報紙発行準備 花苗の区割り・配布 広報紙寄稿依頼 花苗の区割り・配布 子育て広場 水戸市洪水ハザード避難訓練	役員会 （常澄ブロック球技大会） 広報部会打合せ スポーツ健康部打合せ 地区花壇コンクール写真撮影 子育て広場	広報紙校正・発行 スポーツ健康部打合せ

九月	十月	十一月	十二月	一月	二月	三月
花壇コンクール中央審査 子育て広場 FMばるるん 福寿のつどい（社協支部） スポーツ健康部打合せ 子育て広場 稲荷一小周辺草刈り作業	スポーツ交流会実行委員会 スポーツ交流会開催 広報紙担当者研修会 子育て広場	ふれあいまつり実行委員会 ふれあいまつり開催 広報紙発行準備 子育て広場	役員会 広報紙寄稿依頼 子育て広場	広報部打合せ 子育て広場	「水戸市民の集い」参加 広報紙校正・発行 花苗の区割り・配布	役員会 子育て広場

「みと町内会・自治会カード」 リニューアル

「みと町内会・自治会カード」は水戸市住みよいまちづくり推進協議会に所属する町内会・自治会の方が利用できます。

買い物の際、本カードを協力店（市内342店）に提示すると割引等の特典が付きます。

リニューアル化した、新しい青色のカードの有効期限は令和11年3月31日迄です。



詳細は、稲荷第一市民センター（029-269-2213）にお問い合わせください。

令和7年度 予算書

(収入の部)

(単位:円)

科 目	本年度予算額 (A)	前年度予算額 (B)	増減 (A) - (B)
会 費	394,200	397,500	△ 3,300
補 助 金	967,165	967,300	△ 135
事務委託費	680,199	481,100	199,099
雑 収 入	50,000	250,000	△ 200,000
繰 越 金	785,812	1,102,043	△ 316,231
合 計	2,877,376	3,197,943	△ 320,567

(支出の部)

(単位:円)

科 目	本年度予算額 (A)	前年度予算額 (B)	増減 (A) - (B)
会 議 費	50,000	100,000	△ 50,000
事 務 費	80,000	55,000	25,000
事 業 費	1,570,000	1,480,000	90,000
負 担 金	31,000	31,000	0
事務委託費	680,199	481,100	199,099
日当報酬費	200,000	200,000	0
予 備 費	266,177	850,843	△ 584,666
合 計	2,877,376	3,197,943	△ 320,567

地域の子供達

○「児童の笑顔を創り出すことに
取り組む」

水戸市立稲荷第一小学校

校長 桑名 実

本校の目標に関するキーワードは、今年度笑顔です。子ども達の笑顔は、学校・地域の宝物です。是非、ご家庭や地域の皆様にもご協力を頂き、宝物である子ども達の笑顔を学校の内外でたくさん見たいです。

本校の努力目標は三つです。

一つ目は、「できた・分かった・楽しい」と、子ども達が喜ぶ機会のある授業を増やすこと。二つ目は、自己肯定感や自己有用感を育てる取組を増やすこと。三つ目は、自分なりに得たインプット（読む・聞く・調べる活動で得た知識）に基づき、自分なりの言葉で表現するアウトプット（話す・書く・やってみるの活動）を充実させることです。二つ目にあたる取組として、こども達の頑張った姿を積極的に称賛していきます。先日、奉仕作業として子ども達が除草や石拾いをしました。黙々と作業したり、次にするべき仕事はないかを聞きにきたりする姿に感動し、称賛しました。今後も子ども達の笑顔のために努力して参ります。

○「幼児の心を動かす遊びの
環境作り」

水戸市立常澄認定こども園

園長 海老原 夏代子

こども園では、零歳児から六歳児までの園児七十五名が元気に過ごしています。様々な人と関わる中で思いやりの気持ちや意欲を育む環境を整え、主体的な遊びを大切にした保育に取り組んでいます。遊びから生まれた興味や関心を広げることで、色々な学びや探求心の芽生え等、生きる力に繋がる根を大きく広げられるように、職員一同園児に心を寄せて関わっています。

先日、大串貝塚ふれあい公園に遠足の折、地域の歴史や文化・郷土への愛着についても幼児期から育んで参りたいと思います。今後とも、ご理解・ご協力をお願い致します。





稲荷第一市民センター定期講座

○家庭料理クラブ

代表 菊池 礼子

家庭料理クラブは、毎月第三の火曜日に行っています。

当クラブのメンバーは、十一名、女性9名、今年度から、男性2名が加入しました。五月は、カツ丼・白菜クリームシチュー・六月は、酢豚・キュウリの中華風サラダと季節に合ったメニューとなっています。先生には、材料の準備、料理の基本的なご指導をして頂き、毎回新たな発見に、日々勉強させて頂いております。毎回、クラブのメンバーが替わり、楽しい会話が増えるのも楽しみの一つです。また、食材の切り方、手順、火加減など、沢山の学びがあります。市民センターの職員の皆様にも、お手数をお掛けしながら、活動させて頂いています。



令和七年度 役員紹介

顧問	稲荷一小校長	桑名 実
会長	東前一会長	宮部 永一
副会長	大串町会長	上田 正之
〃	東前二会長	栗田 貞夫
〃	東前三会長	斎藤 三男
〃	東水苑団地会長	石田 寛
〃	島田町会長	高畠 弘尚
〃	緑野台会長	林 昭一
〃	大串町内会	濱内里依子
会計	東前二町内会	大場 陽子
〃	総務・防災部長	田山 喜子
〃	総務・防災副部長	星野 幸子
〃	総務・防災副部長	出澤 孝男
〃	総務・防災副部長	木村 之彦
〃	総務・防災副部長	大場 陽子
〃	総務・防災副部長	小森 正巳
〃	総務・防災副部長	益子 英之

市民センターたより

○稲荷第一市民センター



所長
藤咲 一臣

令和七年度の定期人事異動により、稲荷第一市民センターに着任いたしました。

稲荷第一地区の皆様には、日頃から、当市民センターの運営にご支援、ご協力を頂き、心から厚く感謝申し上げます。本年度は、市民センターの定期

幹事	広報部長	出澤 孝夫
〃	広報副部長	木村 栄子
〃	広報副部長	谷田部佐知子
〃	広報副部長	渡辺奈穂子
〃	スポーツ健康部長	濱内里依子
〃	スポーツ健康副部長	清水 豊一
〃	スポーツ健康副部長	出澤 光治
〃	スポーツ健康副部長	蘭部 一彦
〃	環境福祉部長	飯島 清行
〃	環境福祉副部長	吉井 照子
〃	環境福祉副部長	高田 清美
〃	環境福祉副部長	小田倉栄子
〃	環境福祉副部長	前野 進
〃	環境福祉副部長	大貫 進一

編集後記

講座や短期講座、及び地区会等の行事も予定通り開催して参ります。スポーツ交流会やふれあいまつり等、地域の皆様と一緒に盛り上がる行事もありますので、たくさん参加をお待ちしております。これまでの所長が培って参りました地域の皆様との信頼関係をより強固なものにする共に、今後も、地域コミュニケーション活動の支援、生涯学習事業の推進及び地域防災の拠点として、より親しまれる施設運営に、職員一同努力して参りたいと思います。

どうぞ、地域の皆様のご支援、ご協力を宜しくお願い致します。

広報紙「ふれあい稲荷一」第四十五号を発刊するにあたり、ご協力戴いた関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。これからも、地域の皆様とのふれあいを大切にしつつ、皆様のご協力のもと、地域の皆様の元気な姿を届けられるよう努めて参りたいと思います。

(広報部幹事)	広報部長	出澤 孝夫
〃	広報副部長	木村 栄子
〃	〃	谷田部 佐知子
〃	〃	渡辺 奈穂子